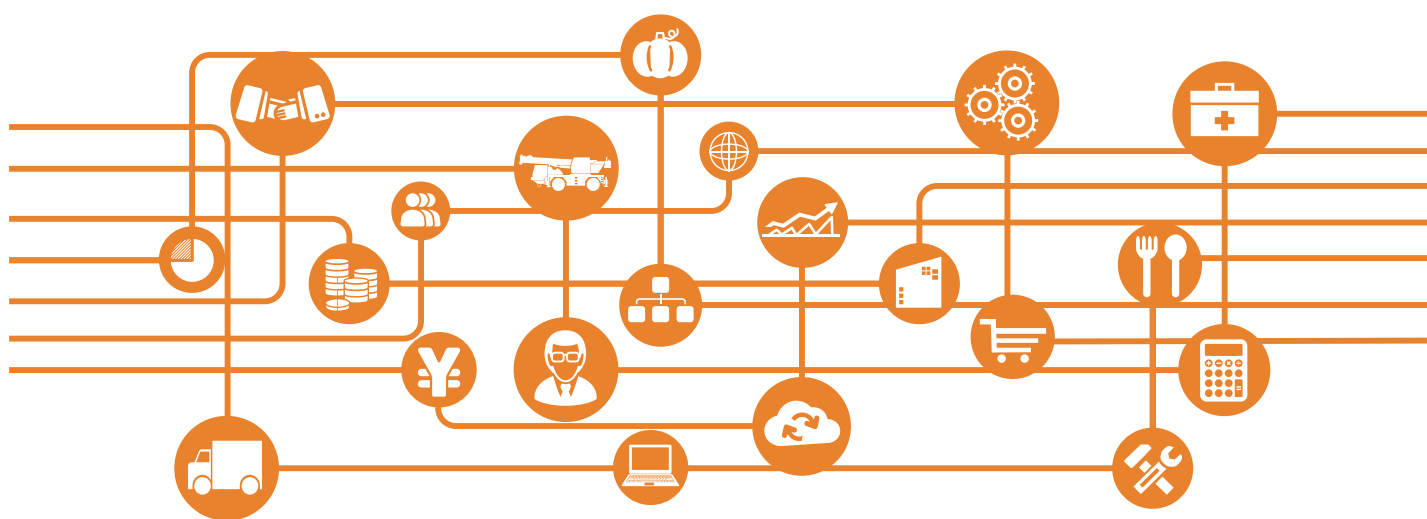


業種別事例集

～ 協同組合～





独自の会計基準を持つ森林組合にも『PCA会計X』で対応。
数字をスピーディーに共有化することで、
職員の経営意識のさらなる向上に

高知市森林組合

高知市・鏡川の渓流沿いに事務所を構える高知市森林組合。約2年前に『PCA会計X』『PCA給与X』を導入し、その効果は単に集計ミスを防ぐ業務の効率化だけにとどまっていない。PCA製品によって職員たちが「数字を共有」することで、高い経営意識にも繋がっているのだ。特殊な組合会計にも応用できる『PCA会計X』『PCA給与X』のメリット、さらにPCA製品を使いこなすための有益なアドバイスもいただいた。

導入システム

- ・PCA会計XシステムB
- ・PCA給与XシステムA

導入の狙い

- ・手書きの処理による計算ミスや時間の問題を解決したい。
- ・独特な会計基準の組合会計だが、なるべくコストを抑えた会計ソフトで処理したい。
- ・職員の誰もが数字を把握できる環境にしたい。

導入効果

- ・『PCA会計X』によって人為的な集計ミスを軽減。処理時間も大幅に効率化。
- ・『PCA会計X』なら工夫を加えることで、協同組合の会計にも応用できる。
- ・スピーディーで確実な会計処理ができ、職員・従業員の経営意識にも活用できる。

プロフィール

高知市森林組合

- 所在地: 〒781-3102 高知県高知市鏡小浜8
- 資本金: 38,594千円
- 売上高: 123,660千円
- 従業員: 12名
- 非常勤役員: 9名
- 設立: 2005年1月
- 主業種: 林業
- 事業内容: 森林管理、木材生産 他

高知市森林組合の事務所横を流れる美しい「鏡川」。「平成の名水百選」にも選定されている。



導入前の運用と課題

○独自の会計基準を持つ協同組合。ベテラン担当者の“頭の中に頼る状況”を改善したい

平成24年5月から『PCA会計X』『PCA給与X』を導入している高知市森林組合。それ以前の会計処理は手書きで行われていたという。一枚一枚の伝票を手計算で集計していくため、当然時間はかかってしまう。また集計ミスに気付くまでの時間を何とか解決したかったと、総務係 係長 佐竹 泰美氏は当時を振り返る。

「当時はベテランの方と私の2名体制で会計業務を行っていました。手書きの処理で困ったのは訂正の処理でした。元帳に訂正の処理を繰り返すとやはり見にくくなります。また試算表を最後に照らし合わせてやっとミスに気付くという状態でした。そのミスが計算ミスなのか、それとも伝票の数字を起こした時のミスなのかを突き止めるために、また一枚一枚伝票を確認する。このように計算と確認にかける時間が大きな負担になっていました」

同組合が会計ソフトの導入に時間をかけたのには理由がある。森林組合に限らず、農協や漁協などの協同組合はそれぞれ一般企業とは異なる独自の会計基準を持っている。そのためそれぞれの組合の会計基準に100%適した会計システムを求めるのなら、一からシステムを構築していくか、あるいはかなり高額な専用ソフトを購入するかの二者択一になってしまう。大規模な森林組合ならその選択は可能だが、小さな規模の組合では高額なシステム構築や専用ソフトの購入は厳しい。そのため組合の会計基準に長年慣れてきたベテラン担当者の手書き処理に頼らざるを得ない面があった。

「しかし、そのベテランの方が退職されることになり、同じように処理できる人が

いない状況になりました。数字の流れやルールはベテランの方の“頭の中”に入っていましたからね。そこで業務の負担を軽減でき、かつ誰もが操作しやすく理解でき、特殊な組合会計にも対応できる会計ソフトがないかを、OA機器を担当してくださっているメーカーさんに相談したところ、PCAを紹介してもらいました」

導入後の効果

○組合の独自会計基準を熟知するPCAインストラクターによる指導

労力がかかっていた手書きの伝票処理だが、それが結果として役に立った面もあると佐竹氏は語る。

「初め私は商業簿記の知識しかなかったのですが、一枚一枚伝票をめくる処理を経験したことで、森林組合簿記の中身を理解することができたのです。そしてこのことによって『PCA会計X』を当組合に合わせて使用していくための基準も見える結果となりました」

これに加えて、導入時に指導を行ったPCAインストラクターの力も大きかったという。

「導入時の指導に来てくださったPCAインストラクターの方が、以前、漁業組合での導入指導の経験がある方でした。当初は『本当に私の話をわかってくれるだろうか、森林組合の特殊な会計基準を理解してくれるだろうか』と不安もありましたが、その不安は無用でした。私の話もよく理解してくださってスムーズに導入でき、当時は私がまだ慣れていない時でしたから、そのインストラクターの方の対応は心強かったです」

○摘要を利用することで事業ごとの集計・検索が容易に



高知市森林組合
総務係 係長
佐竹 泰美 氏



造材作業の様子

伐採・造材・集材・搬出の作業をしています。プロセッサという重機で、伐採した立木を集めながら長さを切り揃えています。

『PCA会計X』について、まずはその検索性の高さに便利さを感じていると佐竹氏は評価する。同組合では摘要欄を上手に利用しており、あらかじめよく利用する摘要文を登録しておき、後から簡単に検索・集計できるようしている。摘要欄には全角128文字まで入力できる。この摘要をもとに科目別・補助科目別の明細書も作成できるため、事業ごとの管理が求められる森林組合の場合は、この摘要集計を使って事業ごとの数字を把握することもできる。補助元帳から事業ごとに「今、いくらこの事業にお金がかかっているか」を集計し、それを現場で働く技術部の従業員にも積極的に開示しているそうだ。

またCSV変換の容易さも便利な機能だと佐竹氏は語る。「一般企業向けの『PCA会計X』を森林組合に応用していますから、『PCA会計X』内の機能では集計できない部分も出てきます。その場合は、CSVに変換し、それをExcel®で処理することになるのですが、この一連の変換操作も非常に簡単にできます。この部分は本当に助かっている部分ですね」

○最大の効果は「職員・従業員間の数字の共有」。それを経営改善にも活かす

このような検索・集計機能によって出力された帳票は、職員がみんなで閲覧できるようファイリングされている。この「数字の共有化」は、PCA製品を導入することで得られたとても大きな効果だったと佐竹氏は語る。

「PCAソフトを導入した年は、経営計画に取り組む初年度でもありました。そのため数字にスピード感をもたせたことはとても意味が大きかったです。組合事業とはいえ、ふたを開けたら赤字だったという状況は、今は許されない時代です。組合員の方に少しでも利益を還元するためにも、事務職員も現場の従業員も経営意識を持つことが先決で、そのためには『数字をみんなで共有できること』は前提です。ですから数字をスピーディーに職員・従業員たちに知らせ共有できることは、PCA製品導入の大変大きな効果でした」

このように「数字をわかりやすく共有で



組合本所にて取材

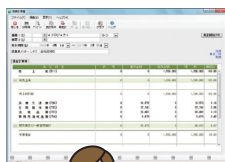
システム概況図

<メリット1>

Excel®データ出力、CSVデータ受入が容易で集計もスピーディー

<メリット2>

摘要集計がスムーズにでき、事業ごとの集計も容易にできる



摘要計算書



PCA会計X



PCA給与X

<メリット>

年末調整・社会保険料率変更の処理が簡単に

<メリット3>

消費税集計機能で課税・非課税ごとに集計・検索。税理士側の処理も容易になる



高知市森林組合

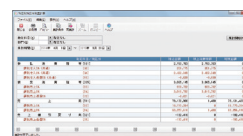
【効果】

事業ごとに集計された数字は、職員や従業員と共有

【結果】経営意識の向上に



税理士事務所



科目別税区分別集計表



【森林組合とは】

森林組合は、山の手入れ、植え付け、伐採、山の売買等のお手伝いをする協同組合です。森林の近くには必ずあり、組合員でなくても相談をすることができます。

また高知には、活発に活動し、全国からも注目されている森林組合がたくさんあり、高知市森林組合もそのひとつです。



きること」という視点から、PCAには帳票類をもう少し工夫してほしいとも語る。

「例えば伝票番号と日付をそれぞれフォントが変えられたら、より見やすいと思います。特に合計残高試算表については、当組合の場合たくさんの補助科目を作っているの、数字が少し見にくい。コスト削減のためモノクロ印刷で出力しているので、例えば文字を斜体にするだけでも見やすさは変わってくるように思います」

○最初に「出力帳票集」を見ることで、組合会計への応用のヒントに

佐竹氏からは、帳票を元にPCAソフトをよりスムーズに導入できるアドバイスもいただいた。

「PCAソフトにはそれぞれ『出力帳票集』が付いています。私の場合はマニュアルを完読するよりも、この帳票集を最初に見て『この集計はできて、あの集計はできない』というヒントにしました。帳票集は集計の答えが集まっているので、組合会計を一般の会計ソフトで応用する場合にも、何が応用できて、何が応用できないかの参考にできると思います」

『PCA給与X』についても、社会保険料率や年末調整などは以前よりかなり負担が減り、何よりもミスのない計算ができる点について安心しているという。

『PCA会計X』『PCA給与X』の導入によって、業務が大きく効率化した高知市森林組合だが、PCAソフトは税理士との信頼感も深めるツールにもなったと佐竹氏は語る。

「税理士の先生がよく気に留めておられ

たのが、消費税の計算でした。組合事業の場合、課税・非課税の設定が複雑で、手計算の頃には伝票を一枚一枚確認する必要があったのですが、今は消費税集計表や消費税明細書によって消費税の見通しがつくようになりました。『数字が見えるようになったこと』は職員・従業員・税理士の先生それぞれにとって好都合だったと思います」

今後の展望

現在、高知市森林組合では組合員の世代交代を進めており、そのためにも若い人たちが安心して林業の職に就ける環境を整えていきたいそうだ。「当組合が受け持つ森林は、高知市の水源である鏡川の流域に広がっています。高知市の人々においしい水を届けるためにも森林の手入れは必要です。そのような意識も持ってどんどん若い人に森林事業に参加していただきたいです。そのためにも当組合が安心して働いていただける環境を作らなければなりません。その環境づくりのためにもPCA製品を活用しながら当職員たちが高い経営意識を持って、今後も取り組んでいきたいです」

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。



精度の高い月次決算システムへの変換
システム連携を活かし、入力業務の軽減と
ヒューマンエラーの排除を実現！

おかやま 酪農業協同組合

酪農家が生産した安心・安全な牛乳を通じて、生産者と地域社会の橋渡しを行う「おかやま酪農業協同組合(通称：JA おからく)」は、課題になっていた会計システムへの入力業務の負担とそれに伴うヒューマンエラーの排除のため、システム間連動性の高い『PCA Dream21』を導入し、業務の簡素化・軽減化から精度の高い月次決算体制を確立した。

導入システム

○PCA Dream21 基本モジュール (10CAL)
・財務会計モジュール ・固定資産管理モジュール

導入の狙い

- ・負担のかかっている売上・仕入実績の会計入力業務を軽減したい
- ・入力によるヒューマンエラーを根絶したい
- ・早期に月次決算資料を作れる経営基盤を構築したい

導入効果

- ・基幹業務と財務会計システムのシームレスな連携の実現で手入力業務を排除し、入力ミス回避できた。
- ・システム自動化により、月次決算データを早期に収集でき、経営会議のための月次決算資料を素早く作成できるようになった。

プロフィール

おかやま酪農業協同組合

事業所・施設：

- 本所 〒708-0841 岡山県津山市川崎 94-1
- 津山支所(指導部) 〒708-0841 岡山県津山市川崎 94-1(本所敷地内)
- 西大寺事業所 〒704-8126 岡山県岡山市東区西大寺浜 856-1
- 備南・びほく事業所 〒719-0243 岡山県浅口市鴨方町鴨方 2085
- 備南・びほく事業所 びほく事務所 〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 4614-1
- 鏡野 CS(クーラーステーション) 〒708-0335 岡山県苫田郡鏡野町真加部 1385
- 津山 SP(ストックポイント) 〒708-0856 岡山県津山市西吉田 558-5
- 西大寺 SP 〒704-8126 岡山県岡山市東区西大寺浜 643-1
- 蒜山出張所・SP 〒717-0501 岡山県真庭市蒜山中福田 361-5

設立：平成 14 年 4 月 1 日

岡山県下 4 つの酪農専門農協(旭東酪農業協同組合、水島酪農業協同組合、瀬戸内酪農業協同組合、ホクラク酪農業協同組合)の合併により発足。同時に 岡山県酪農業協同組合連合会の業務を引き継ぐ。

地域：岡山県全域

- 組合員数：○正組合員 508 名 ○准組合員 137 名 (H23.3 現在)
- 出資金：6 億 7884 万円 (H23.3 現在)
- 役員員数：○理事 14 名 ○監事 4 名 ○職員 87 名 (H23.3 現在)
- 常勤役員：○代表理事組合長 千葉 靖代 ○代表理事専務 東山 基 (H23.3 現在)
- 企業 URL：<http://www.okaraku.or.jp>

事業内容：

おからくは酪農家が丹精込めて生産した牛乳を集めて、乳業メーカーへ届けています。牛乳の集送業務に加えて乳牛の購入・販売・輸送、飼料の取扱い、酪農家への生産指導など、酪農業に関わる業務全般をワンストップで行っています。また、酪農事業や乳製品の安定的な供給のために、関連団体・関係会社を含めて、酪農家の支援を行っております。

①販売事業

- ・生乳生産計画の推進・集送乳事業・鏡野 CS 業務・乳質指導検査・牛乳・乳製品の消費拡大の推進(岡山県酪農業協会事務局)

②購買事業

- ・安全・安価で高品質な飼料・資材の仕入れと安定供給・取扱品の選択と品質管理
- ・飼料中継基地(S P)からの効率的な配送体制・乳牛の飼料給与指導

③流通事業

- ・哺育素牛・肥育素牛・肉用牛・肥育牛・搾乳素牛・管内酪農牛の取扱・北海道等への預託牛輸送
- ・育成牧場の活用(北海道より搾乳素牛導入の流通基地)

④生産指導事業

- ・酪農経営安定対策・環境整備対策・乳質向上対策・酪農ヘルパー事業・青色申告研修会・パソコン利用の複式簿記研修
- ・後継者新規就農対策・各種組織活動支援補助事業への普及協力

⑤改良登録事業

- ・凍結精液事業・登録事業・牛群検定事業・乳牛共進会

⑥診療・受精卵移植事業

- ・診療事業・受精卵移植事業

□関連団体：

①組合員組織

- 地区酪農組合 ○おからく女性部 ○おからく青年部 ○おかやまホルスタイン改良同志会 ○おかやまジャージー改良同志会
- おかやま酪農ヘルパー利用組合 ○牛群検定組合 ○おからく哺育・肥育組合 ○岡山県酪農政治連盟

②組織

- 財団法人おからく教育振興会(酪農家の育成)

③関係会社

- 酪友運送株式会社(生乳・飼料運送業) ○株式会社きびじ酪農運輸(生乳・飼料運送業)
- オカラクミート株式会社(食肉等卸売小売業) ○西日本興農株式会社(畜産機械・器具全般販売業)

【総務部の皆様】



おかやま酪農業協同組合
総務部 総務課 調査役
早瀬 修 氏



おかやま酪農業協同組合
総務部 経理課 係長
土居 直美 氏



おかやま酪農業協同組合
総務部 経理課
岡本 誠 氏

消費者へ安心・安全な牛乳を届ける事業を行う「おかやま酪農業協同組合」は、酪農業者の相互扶助組織として、組合員の農業と生活全般にわたる各種の事業活動を通じて、わが国酪農業の発展と地域経済・社会の発展に貢献している。

新システムとして、同組合が『PCA Dream21』を選んだ理由についてお話を伺った。

経営課題

組合員に対して、安心・安定した指導や飼料・資材の供給を行うために、組織の月次決算を明確に行う必要性があったが、システムの問題で実現できていなかった。

旧来の会計システムは総合農協（JA）向けの個別汎用システムを切り出し、部分的に適用させていたため、業務をシステムに合わせなくてはならず、不要な部分の入力まで行わなければならなかった。

そのシステムは岡山県農協電産センター内にホストを置き、そこに接続しに行く、いわゆる共用利用システムであった。総合農協（JA）と同様な業務を行っていた時期までは、フィットする部分も多かったが、信用業務の廃止後は、ギャップがでてしまう部分が増加してきた。

また、基幹業務システムは他システムとの連携を想定しない、汎用機ベースのシステムであったため、会計システムへの伝票入力はずべて手入力が前提で、その入力負荷だけでなく、入力ミスによる修正やチェックなどの付随作業にも、時間と労力がかかっていた。

新システムの検討

平成 14 年の組織合併による事業再編、平成 19 年 3 月末の信用業務の廃止を経て、総合農協（JA）と専門農協である同組合の業務に、大幅なギャップが生じていた。これ以上現状システムを利用し続けることは難しく、新システムへの移行は不可欠となっていた。

担当者が思い描く新システムの理想は「酪農業の管理にフィットするシステムであること」「バックオフィスの財務会計ともスムーズに連携し、入力せずに早期の月次決算を可能にできること」だった。

そんな折、岡山のシステムベンダーである、株式会社両備システムソリューションズ（以降：RSOL）から、様々なシステムと高い親和性を誇る、統合型業務ソフトとして『PCA Dream21』を提案された。

経営課題を解決できる PCA Dream21

統合型業務ソフト（ERP）である『PCA Dream21』は、あらかじめ基本的な業務機能が搭載されている。さらにお客様の業務ニーズにあった、アドオンカスタマイズができるという点が強みである。

また、財務・管理会計に係る数値をスムーズに集めるために、多種にわたる柔軟なインターフェースを持っており、他システムとの連携性も非常に高い。RSOL からは、同組合の経営基盤を底上げできる、全体最適化の基幹業務システムとして『PCA Dream21』の提案を受けた。

PCA Dream21 導入後の効果

『PCA Dream21』導入後は、業務改善が形として表れはじめている。

【効果 1】RSOL 製品の「酪農販売システム」と、『PCA Dream21 財務会計モジュール』の仕訳データを自動連携することで、酪農活動における月次実績のスムーズな登録・管理などが行えるようになり、さらに販売・購買に係る科目の入力がゼロになった。

【効果 2】一部の一般管理費系経費入力だけで月次決算が行えるようになり、従来は月 2～3 人で行っていた入力作業が、1 人で対応可能になった。

【効果 3】データの自動連携により、入力時の登録ミスを軽減できた。さらに消費税区分などの自動判定により、高度な集計や出力処理が行えるようになり、残業時間の短縮が可能になった。

【効果 4】同組合は、理事会に報告する資料に『PCA Dream21』から出力される決算書類を利用しており、画面から Excel®へそのままコピーができるため、加工時間の短縮にもつながった。

【効果 5】消費税集計表で日々の消費税区分チェックを行っているため、消費税申告書が非常にスムーズに作成でき、担当者からは高い評価を得ている。

稼働までのスケジュール

RSOL からは、「稼働までの期間に 1 年」との提案を受けていたが、問題なく提案通りのスケジュールにて新システムを稼働させる事ができた。

特に会計部分については、特殊法人会計に強いノウハウを有している株式会社アクシス インストラクトレスの支援を受け、2～3 ヶ月で安定稼働を開始した。

【取材にご協力いただいた皆様】

おかやま酪農業協同組合
代表理事専務
東山 基氏

おかやま酪農業協同組合
総務部 部長
矢野 茂樹氏

おかやま酪農業協同組合
総務部 総務課 調査役
早瀬 修氏

おかやま酪農業協同組合
総務部 経理課 係長
土居 直美氏

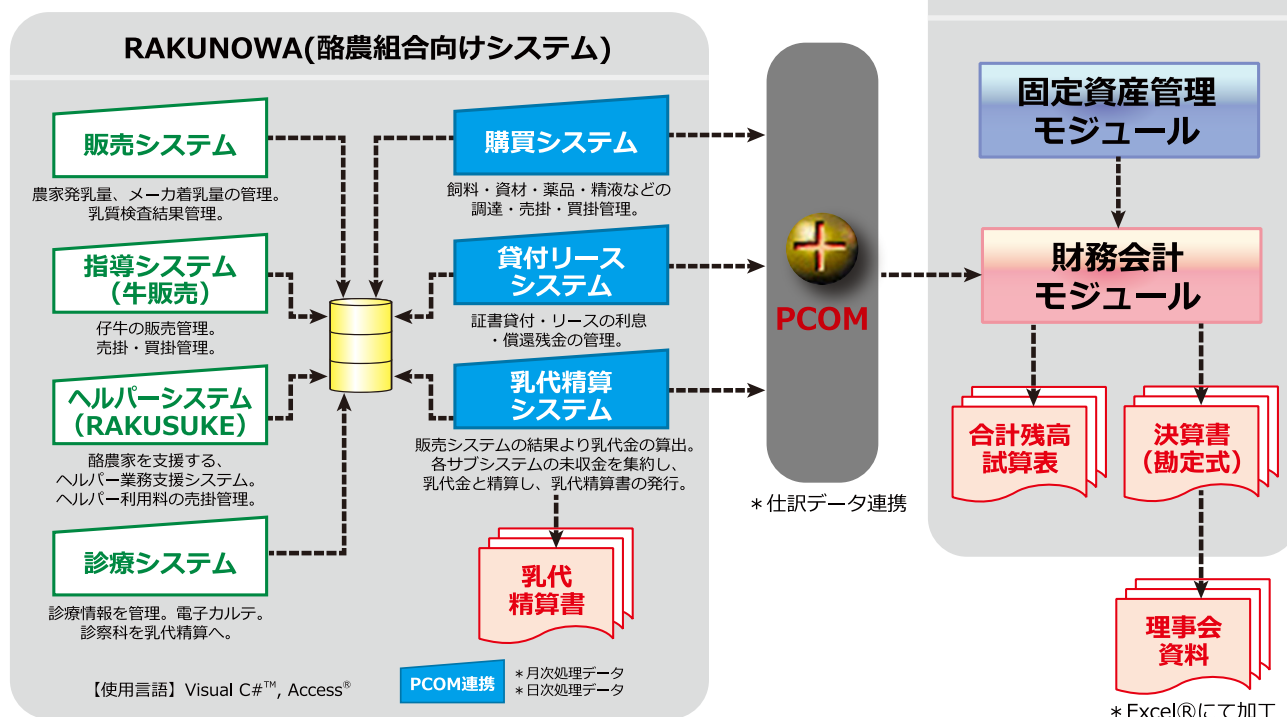
おかやま酪農業協同組合
総務部 経理課
岡本 誠氏



おかやま酪農業協同組合 本所

酪農組合向けシステム RAKUNOWA HP
<http://www.ryobi-sol.co.jp/rakunowa/>

システム概況図



* Excel®にて加工



本所玄関前にて



おかやま酪農業協同組合
代表理事組合長
千葉 靖代 氏



おかやま酪農業協同組合 HP
<http://www.okaraku.or.jp/>

今後の課題

システム担当である、総務部 経理課の岡本氏からは「月次実績を集める基盤のシステムは上手く構築できました。」という感想とともに、「スムーズに支払ができるシステムを、いかに構築させていくかが、今後の業務課題です。」との考えを語っていただいた。

また、一般的に『PCA Dream21』を利用している土居氏からは「キャッシュフロー資料がまだまだ上手く活用できていません。投資キャッシュフローが自動組み換え仕訳なしで集計されれば、もっと活用できるシーンがあるはず。さらに経営管理資料にも、加工なしで貼り付けができれば、業務負荷が軽



【ロゴについて】

おからは平成 14 年 4 月 1 日、岡山県酪農農業協同組合連合会と岡山県下 4 つの酪農専門農協(旭東酪農協同組合、水島酪農農業協同組合、瀬戸内酪農農業協同組合、ホクラク農業協同組合)が合併して発足しました。

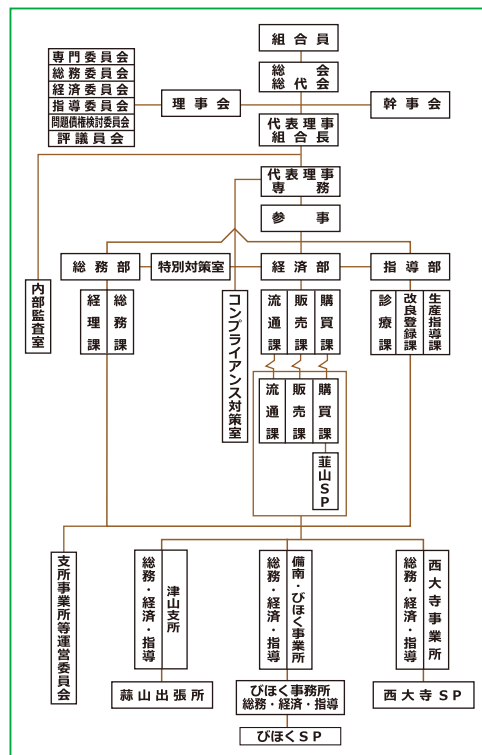
おからくのロゴには、私達が暮らす岡山県の中心に4つの斑紋がある乳牛を描きました。

この斑紋は合併前の 4 組合を意味しています。合併により 1 つの組合となった 4 合が、力を合わせて岡山県の酪農業をより豊かなものにしていきたいという強い思いをこのロゴに込めました。

減できると思います。」と、深くご利用されているお客様だからこそ、貴重な意見を聞く事ができた。

最後に「更なる『PCA Dream21』の活用を図りたい」と、力強いお言葉を頂いた。

※団体名や役職などは、取材時の
平成24年3月31日時点の情報です。





行動・改革・成長

個性豊かな自己表現ができる
多様な人材を育成します



特殊な業務を汎用パッケージと
アドオンカスタマイズで安価に対応。
TCO の削減と業務効率向上に成功！



一宮グループ

協同組合 一宮開発グループ

「協同組合 一宮開発グループ」は、一宮グループの共同開発力の強化・管理部門の合理化・金融等の円滑化・人材育成などの役割を担っている。グループ共用システムのリプレースに際し、特殊な販売・請求業務のため、移行先の次期システムを見いだせなかったが、アドオンカスタマイズが可能な『PCA Dream21』を導入して、業務だけでなく財務会計に自動連携し、一気通貫の処理によって業務最適化を図ることに成功した。

導入システム

○PCA Dream21 基本モジュール (3CAL)
・財務会計モジュール ・販売管理モジュール

導入の狙い

- ・現状システムの大幅な変更なく、新システムを検討したい。
- ・グループへの配賦売上・売掛処理を効率化したい。
- ・協同組合法人に対応できるパッケージで、安価なシステムリプレースを行いたい。

導入効果

- ・汎用パッケージシステムの機能に不足分をアドオンカスタマイズすることによって、従来のシステム範囲をうまく継承できた。
- ・配賦売上請求ロジックを旧システムから引き継ぎ、スムーズな会計連携を実現できた。
- ・科目設定を上手に使いこなし、協同組合法人の会計資料を月次ベースで出力可能になった。

プロフィール

協同組合 一宮開発グループ

□所在地：

〒792-8584 愛媛県新居浜市西原町 2 丁目 4-34
一宮グループセンタービル新居浜 6F

□資本金：2,100 万円

□代表者：一宮 捷宏

□従業員数：10 名

□設立年月日：昭和 51 年 10 月 15 日

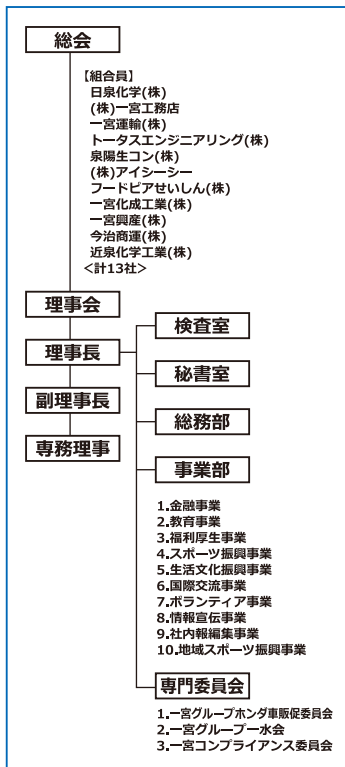
□企業 URL：<http://www.ichimiya.co.jp/kaihatsu/>

□事業内容

- ・教育事業 ・福利厚生事業 ・スポーツ振興事業
- ・生活文化推進事業 ・国際交流推進事業 ・ボランティア活動事業
- ・その他の事業（金融事業 情報広報事業 社内報編集事業）

私たちは、一宮グループの共同開発力の強化、管理部門の合理化、金融等の円滑化、人材育成などの役割を担っています。一宮グループの知力を結集したグループのシンクタンクともいべき組織です。





沿革図

【協同組合 一宮開発グループの発足】

昭和 51 年(1976 年)10 月 15 日、協同組合一宮開発グループは、現 (株)一宮工務店、現 日泉化学(株)、現 泉陽生コン(株)、トータスエンジニアリング(株)、現 一宮興産(株)、現 一宮化成工業(株)の 6 社、出資金 500 万円で発足しました。

当時日本の経済情勢は、石油ショック以来高度成長より減速経済に移行して、企業倒産も依然として高水準を示し、とくに下請け企業における経営環境は一段と厳しく、その再編が強く要請されていました。

設立の趣旨は、「組合員の相互扶助の精神に基づき、経済的・社会的課題に取り組むこととともに、組合員のために必要な研究開発を強化し、事務集中による管理部門の合理化、金融の円滑化等共同事業を行い、組合員の自主的な経済活動を促進、その経済的地位向上を図る」というものでした。



創業当時の写真

「協同組合 一宮開発グループ」は、“共創・共働・共歓”を理念に、一宮グループ全社の円滑な業務を推進できるよう、共同開発力の強化・管理部門の合理化・金融等の円滑化・人材育成などの役割を担い、採用・教育事業や福利厚生事業を一手に引き受けている。

またグループ組織活性化のため、国際交流・広報・スポーツ振興・生活文化推進などの事業も展開している。

一宮グループのスローガンは『行動・改革・成長(Excite Our Mission, Get Our Satisfaction)』である。高い企業倫理と「夢」の実現に向けて、努力を続ける優秀なスタッフに支えられて成長してきた同組合は、同時に社員にとっての自己実現の場になる環境づくりを目指している。

協同組合 一宮開発グループの幅広い事業活動

「協同組合 一宮開発グループ」は、構成する 13 社の組合員を中心に、一宮グループ 28 社の教育事業や福利厚生事業などを行っている。

グループ全体によるトップミーティングをはじめ、役員研修・新入社員研修・階層別研修・選抜型研修・活力朝礼研修などの集合研修を主催し、一貫して実施している。また、社員一人一人のニーズやレベルに合った教育を提供する手段として、通信教育や外国語研修も実施し、それぞれに奨励金制度も設けるなど、手厚いサービスを提供している。

特徴的なサービスとして、ICA（アイカ）選抜型研修や、I'LL（アイル）一宮グループ女性活動推進委員会がある。

ICA（アイカ）とは、一宮グループコンピテンシーアカデミーの略で、高い専門性と自立性を兼ね備える人材へ変革するマネジメントにより、一宮グループを変える意識を備えた企業人としてのコンピテンシーを確立するために、各社の核となる若手社員を育成し、『企業とは何か』を心技体の研修を通じて考察・研究し、その中で一宮グループの経営理念やビジョンを探求しつつ、強い信念と責任感、力強い実行力と広い視野を持つ、正しい社会良識と必要な理念並びに経営の要諦を体得するための人材育成塾である。

また I'LL（アイル）:Ichimiya Will Committee) とは、女性が一層活躍する企業集団として発展し、女性が働きやすい環境を創造することを目的に一宮代表を委員長として設置され、一宮グループの各社より選抜された四国・関西・関東の女性メンバーが、職場環境改善に関する提案やファミリーイベントの開催など、女性の視点を生かした独自の活動を推進する女性リーダーの育成委員会である。

導入までの運用と課題

『PCA Dream21』導入前は、日立製作所製「HiCOUNT2」という会計パッケージを使用していた。しかし同組合がグループ会社から受託しているサービスの内容は事業ごとに様々で、サービス・事業内容・組合員の人数・奨励金制度の内容などを考慮

して、請求金額の按分を行わなければならなかった。そのためグループ会社への売上・請求業務のプロセスが、一般的な販売管理システムには適合させることが難しく、システムとは別に煩雑な管理や手作業が必要となっていた。

また高額なハードウェア保守料、Excel®など Microsoft®製品との連携のしづらさ、新会計基準への早期対応の難しさなど、現行システムには多くの課題があり、新システムの検討が不可欠となっていた。さらにメーカーから、保守の終了が発表された。これにより、新システムのリリース検討を予定より早めなければならなかった。

全体的な業務の見直しを行う時間もなく、現状と同等の高額な費用も出せない。また特殊な業務の引き継ぎができて、協同組合法人に対応した、請求情報も細かく管理できる財務会計・販売管理パッケージシステムの選定は容易ではなかった。

ちょうどその頃、同組合と現行システムを共用利用していた、グループ会社の一宮興産株式会社が、次期基幹業務システムに『PCA Dream21』

を選定した。同じシステムを利用していただいていたため、同組合にも適用できるかを検討することになった。

顧客ニーズにフィットする汎用パッケージソフト『PCA Dream21』

統合型業務ソフト（ERP）である『PCA Dream21』は、あらかじめ基本的な業務機能が搭載されている。さらにお客様のニーズに合わせて、アドオンカスタマイズという形で業務や経営情報をシステム化できることに強みを持っている。

また財務・管理会計に係る数値をスムーズに集めるために、豊富なインターフェースを備えており、他システムとの連携性が非常に高い。

同組合の場合は『PCA Dream21』の基本機能には実装されていない「売掛金配賦按分処理」と、「中小企業等協同組合法上の報告書」さえアドオンカスタマイズできれば、かなりのフィット率で新システムへの移行が可能だと想定できた。

自分の力を思い切り出せるフィールドがある・・・



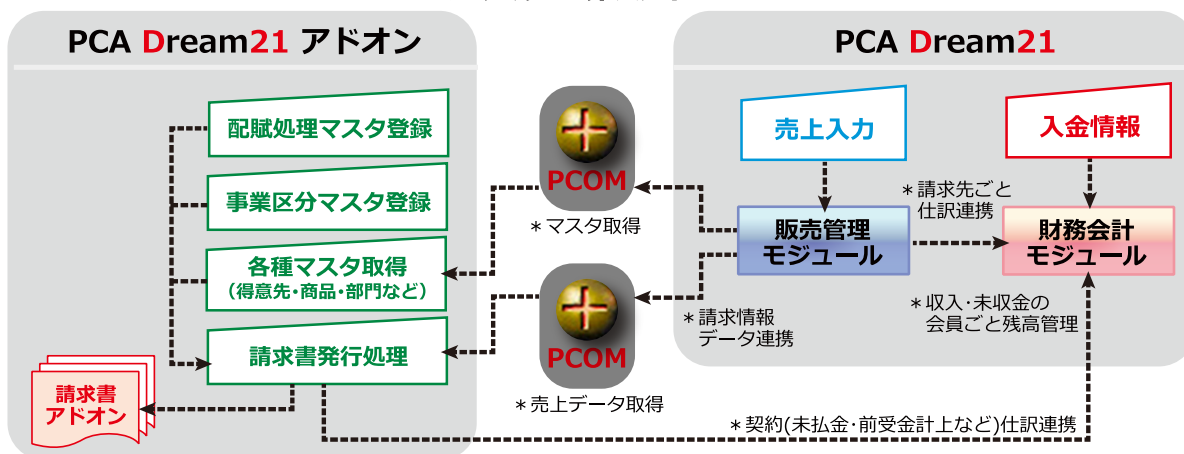
さまざまな事業活動

【一宮グループ統一スローガン】
行動・改革・成長
Excite Our Mission, Get Our Satisfaction



一宮グループセンタービル

システム概況図



* 専用フォームにして発行 PcomからのExcel連携

* 使用言語: Visual Studio 2005

* 使用ツール: .Netツール



協同組合 一宮グループ
従業員の皆さま



協同組合 一宮グループ HP
[トップページ]
<http://www.ichimiya.co.jp/kaihatsu/>

スムーズな移行と大幅な コストダウンを実現

一宮グループの情報システム会社である株式会社アイシーシーは、一宮興産株式会社から委託された『PCA Dream21』へのシステム移行・構築・アドオンカスタマイズを成功させた実績があったので、同組合からも移行業務を依頼することになった。

まず最低限の請求配賦業務の見直しと、アドオンカスタマイズが行えるように、システムエンジニアによって慎重に仕様が検討された。仕様決定には1・2か月の期間を要したが、その後プログラミング期間・動作テストを経て、半年を待たずに本稼働を開始することができた。

『PCA Dream21』は、旧システムでは難しかった Excel®など Microsoft®製品との連携性が非常に高い。「アドオン工数の削減」「メンテナンス性の向上」「注意書きや備忘録など付加情報の入力」を可能にするため、請求書は Excel®で出力する仕様にした。

若干のレイアウト調整なら利用者側でも可能で、入力項目の色分けなども自由に設定することができる。新システム導入後の運用について、入力担当からの評価は非常に高かった。

また製品のライセンス保守料が安く、サーバーは一般的なものが適用できるので、TCO※1 の大幅な削減が実現できた。

今後の課題

株式会社アイシーシー システムサポートグループの篠原グループマネージャー（システム移行プロジェクト主担当）に、今後の課題を伺った。

「旧システムでは実現できなかった、報奨金支給者の給与システムデータの連携や、過去の受講履歴などの業務もシステム化して、『PCA Dream21』に取り込むことができないか検討していきたい。また今後は、消費税改正などの制度改正が多くあることが予想されるので、新システムへ移行した効果が発揮されることを期待したい。」と、今後の『PCA Dream21』に対する要望を述べて頂いた。

※1): Total Cost of Ownership

